



富谷市日中友好協会

設立 30 周年記念

馬頭琴の調べと 講演会を開催

- ◇バヤラト氏ご夫妻による
馬頭琴の弾き語り「スーホの白い馬」
- ◇泉川友樹氏による講演
演題「本当の中国を伝えたい」



5月24日、富谷市日中友好協会の設立30周年を祝う記念事業「馬頭琴の調べと講演会」が、成田公民館で開催されました。若生裕俊市長をはじめ、多くのご来賓の臨席を賜り、松田会長の挨拶で開会し、若生市長からご祝辞をいただきました。

第一部では、バヤラト氏ご夫妻による馬頭琴の弾き語り「スーホの白い馬」が披露されました。モンゴルの民族楽器である馬頭琴の弾き語りに、モンゴルの雄大な情景が心に浮かび、多くの人々が聴き入っていました。

第二部では、日本国際貿易促進協会の事務局長である泉川友樹氏による講演が行われました。「本当の中国を伝えたい」というテーマのもと、中国の歴史や現代社会の一面などを、ご自身の実体験を通して、日本との関係について語っていただきました。講演後のアンケートでは「中国への認識が変わった」「新たな視点を得られた」との声が多数寄せられました。

また、講演の終了後に、参加した留学生(6名)から、30周年を祝し、龍と鳳凰と牡丹の絵が施された、中国の伝統的な健康器具の健身球「鉄球」が富谷市日中友好協会に贈られました。

今回の催しには、富谷市内外から85名が来場し、20代以下から70代以上まで、幅広い世代が参加されていました。「馬頭琴の調べと講演会」は、異文化交流の意義を改めて実感させる機会となり、設立30周年という節目を祝うにふさわしい記念事業となりました。開催にあたり準備や運営等で、会員皆様のご協力に心より感謝いたします。



第30回定期総会のお知らせ

富谷市日中友好協会の定期総会を開催します。終了後、懇親会を行います。(会費500円)

また当会の会費3,000円受け付けします。なお県日中の会員は別途会費6,000円も受け付けをしますのでよろしくお願いいたします。

日時：6月29日(日)
午後2時開会

会場：町上会館